

「We do these things!」



Green TV Japan LLC代表
株式会社テレフォニー 代表取締役社長
水野 雅弘

各マスメディアにおける放送作家業務及び映像プロデューサーを経て、コンサルティングファーム・(株)TELEPHONYを設立。大手企業の顧客戦略やデータベースマーケティングのコンサルティング実績を持つCRMの第一人者。

2006年より環境グローバル映像メディア「Green TV」の日本代表を務め、2008年には社会的事業を推進するためにGreen TV Japan LLCを設立。各省庁の研究会の委員にも参加し、映像を活用した環境活動の推進に従事。

CEPA*のプラットフォームを提供して 企業の環境コミュニケーションをサポート

CEPA: Communication, Education and Public Awareness

Green TV は、2006年に英国で誕生した世界初の「環境」をテーマとした、映像専門のグローバルメディアです。次世代メディアとして、「Think Globally Act Locally」をコンセプトに、地球温暖化から生物多様性、企業のCSR活動等、環境をテーマにした番組を配信し、行動を促すメディアを目指しています。日本では、2007年7月に日本語版をスタートし、毎週3本ずつの映像をアップしながら、世界中の環境映像のみならず、日本の現状を紹介する番組を自ら制作し配信しています。現在、450本以上の多種多様な映像を無料でご覧頂けます。

Green TVの中には企業の取り組みを紹介する番組もあり、特にガバナンスや数値などを除いた、企業の社会貢献活動・環境活動を紹介する番組を多く制作しています。社会全体がグリーンにシフトしていく中で、従来型の企業

の説明責任及びデータ開示のためのCSRレポートから、企業自らが様々なステークホルダーと対話することで生まれる環境コミュニケーションが求められています。その実現を図るために重要なのが、CEPA (Communication, Education and Public Awareness)であり、Green TVはこうしたプラットフォームを提供することによって、企業の環境コミュニケーションをサポートしていきたいと考えています。

価値ある映像を多くの方々にご覧頂くため、Green TVでは効果的な映像のマルチユース化を推進しており、ネットでの配信に限らず、映画館やテレビ番組、各種環境イベントでの放映など、様々な場面に映像コンテンツを提供しています。また、店頭でのデジタルサイネージシステム導入によるコンテンツの活用にも協力しています。

さらに、映像は視覚と聴覚から人々

の感性に訴え、「見て・考えて・行動する」教育を促すメディアとして注目されており、Green TVでは小中学生や企業内従業員を対象に、アーカイブした映像を活用した環境教育の推進にも取り組んでいます。環境省主催の平成21年度環境政策提言においては、「映像を活用した環境教育の推進」が採択され、今後は環境省と連携し推進を図る予定です。

今年には国際生物多様性年であると共に、名古屋でCOP10が開催されます。Green TVでは一般市民に映像で生物多様性をわかり易く伝えるサイトを、昨年9月にオープンいたしました。生きものの命の尊さや、企業の生物多様性に関わる取り組み等を映像で提供しています。さらに、ドイツのB&Bイニシアティブとの連携により、世界中の企業の様々な取り組みや、各種イベント情報等をテキストで紹介しています。▼